

タイ王国シーブンヤーノン校＝兵庫県立神戸北高等学校 国際交流プログラム

日程： 令和元年(2019年)10月24日(木)～29日(火)早朝発 5泊6日

※ 略称： SB＝シーブンヤーノン校、北高＝神戸北高校

来訪人数等 《SB生徒の詳細は別紙》

- 生徒5名(女子4名＋男子1名)と教員4名【全員女性】:

Taraporn Promkhot タラポーン・プロムコット校長先生(英語)

Nongnuch Chongthavonsatit ノンヌット・ジョンターウォンサティット先生(英語)

ナン先生こと Dusanee Kamsaeng ドウツサニー・カムセエン先生(日本語)

タウ先生こと Kittiya Niamtang キットィヤー・ニームタン先生(日本語)

- 宿泊： SB生徒は全期間、北高の生徒宅にホームステイ。
- 教員4名は、JR三宮駅近くのホテル泊だが、プロムコット校長先生とノンヌット先生は、27日(日)朝に関空から帰国する。残る日本語教員ナン先生とタウ先生は、26日(土)夜～29日(火)朝出発までは、北高教員の自宅に滞在。

本校の受入家庭(ホストファミリー)

(1年2組) KY、(1年5組) KA、(2年2組) IM、(2年5組) OS、(3年5組) NM

10月24日(木) DAY 1 中間テスト最終日

- SB生徒5名と先生4名は、エアアジア XJ612 便にて朝 8:40 に関空着。(バンコク・ドムンアン発 0:55)
- 長澤校長とM教諭が出迎え、関空からマイクロバスのレンタカーで北高へ。11:30 頃に？北高着。玄関で、できるだけ多くの教職員・生徒で出迎える。
- 到着後、一行は会議室へ。簡単な歓迎式。両校の校長の言葉、交流提携書への署名、写真撮影等。合流後、SB生は、北高ホスト生徒と各家庭に帰る。
- のち、SB先生方は、マイクロバスで三宮のホテルへ。ただし、校内で昼食後、まず長澤が有馬温泉にご案内してから(入浴はしない)。

10月25日(金) DAY 2 校外学習(遠足)

- SB生は、朝から各ホスト生徒とともに、「校外学習」(遠足)へ。行き先は、1年生は奈良、2年生は京都、3年生は(大阪の)USJ。SB生は、終日北高のホスト生徒とともに行動する。
- SB先生のうち、日本語教員のナン先生は奈良に、同じくタウ先生はUSJに参加。タラポーン校長先生とノンヌット先生は、別途長澤校長が、車で宇治市/京都市方面にご案内する。

10月26日(土) DAY 3 1日小旅行

- SB生徒・先生と北高ホスト生徒・先生(長澤校長・O教諭・K教諭)で「1日小旅行」を実施。
- T駅前のバス・タクシー乗り場に朝8:30に集合。服装自由、スマホ、おやつ等OK。
- マイクロバスで徳島県鳴門市へ。「うずしお観潮船」と「渦の道」のあと、南あわじ市の「イングランドの丘」へ。できたら「野島断層保存館」も。帰りは、夕方5~6時までに三宮で解散の予定。

10月27日(日) DAY 4 各ホストファミリーと

- SB生は、各ホストファミリーと過ごす。ナン先生とタウ先生についても同様。
- SB校長先生とノンヌット先生は、朝ホテルをチェックアウト。長澤校長が随行して、三宮からリムジンバスで関空に向かい、朝9:55発のエアアジア XJ613 便で帰国。(バンコク・ドムンアン着 13:55)

10月28日(月) DAY 5 この日、神戸新聞社の取材あり

- SB生5名と先生2名(ナン先生・タウ先生)は、北高に登校。
- 朝1時間目、体育館で北高の全生徒が集まり、「歓迎式」を行う。(タイ舞踊の披露等あり)
- 各SB生は、ホスト生徒の「ホームルーム」に入り、英語のほか、書道・美術など、参加しやすい授業に出る。また、近隣の小・中・幼稚園を訪問し、交流する。
- 放課後、SB生は、北高生とともに帰宅(SB先生は、教員とともに帰宅)。最後の泊。

10月29日(火) DAY 6 エアアジア XJ613 便 関空発 9:55、バンコク・ドムンアン着(現地) 13:55

- 関空発が早い(9:55 発)ので、関空集合は朝 8 時となり、神戸を出るのは、朝 6 時~6 時半頃となる。
- 各家庭から、一番都合が良い方法で関空に向かう。ナン先生とタウ先生は、それぞれ長澤校長とK教諭が空港に送る。